

令和 7 年度災害廃棄物処理対応強化事業
企画運営業務

仮置場設置・運営訓練
実施計画書

令和 7 年 9 月

日本エヌ・ユー・エス株式会社・
株式会社東和テクノロジー共同企業体

1. 訓練の概要

青森県、黒石市及び県内廃棄物処理業者等が連携し、黒石市における仮置場候補地を対象として、仮置場の設置や管理運営に係る実地訓練を実施する。

目的

- ・ 県全体での対応力の強化
- ・ 官民連携した実践能力の向上
- ・ 災害廃棄物に関わる初動対応の強化

2. 実施場所

青森県黒石市黒石運動公園 東側駐車場



3. 実施日時

令和7年10月24日（金） 13:00～16:00

4. 講師

国立環境研究所資源循環領域 高田光康 客員研究員

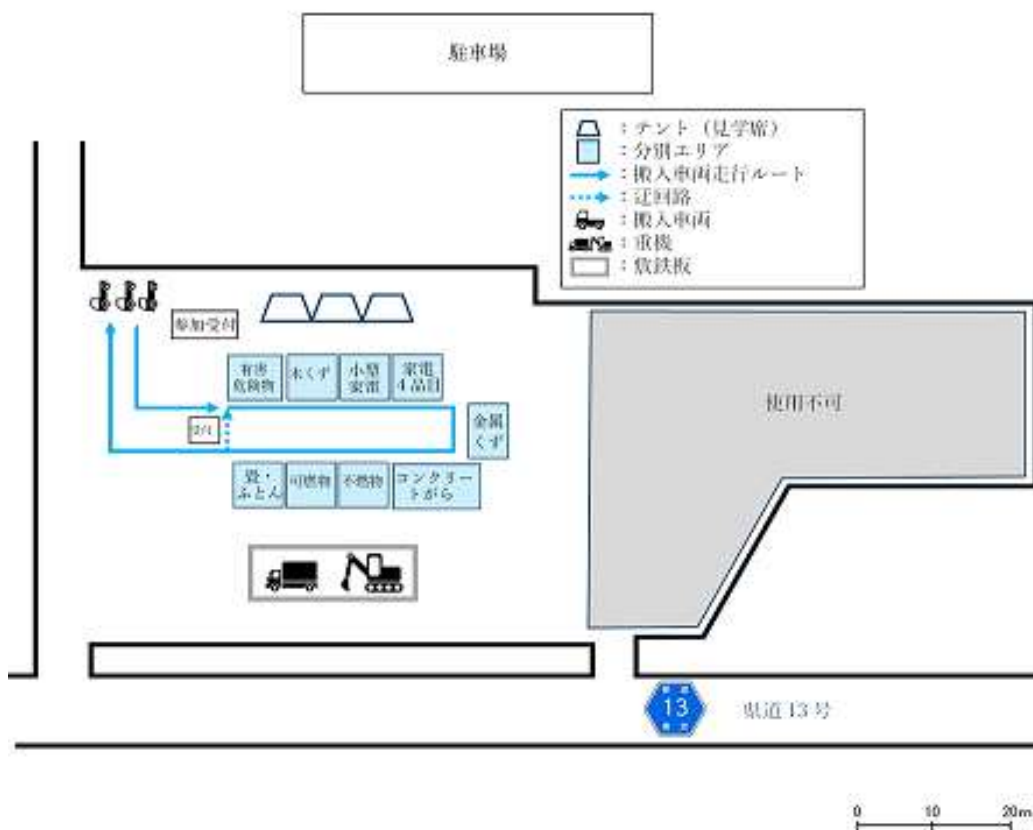
<略歴>

元神戸市職員。阪神・淡路大震災では災害廃棄物処理担当者として対応。東日本大震災では国立環境研究所の立場で、様々なサポートを実施。現在は、災害廃棄物分野の有識者として国や各自治体の研修や検討会等で有識者等参加。

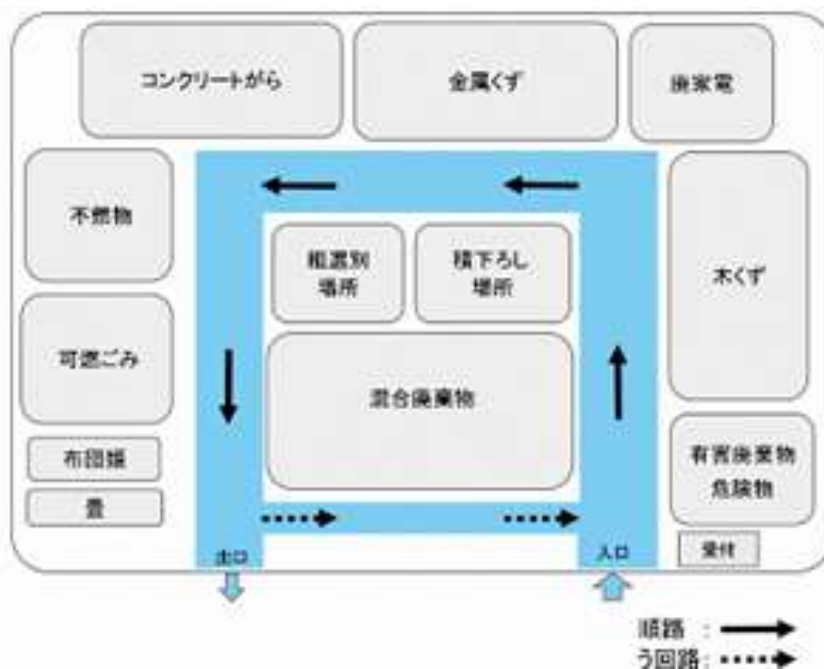
5. 会場レイアウト

仮置場レイアウト案を以下に示す。

仮置場の分別は「青森県災害廃棄物処理計画」等を参考とし、①有害・危険物、②木くず、③小型家電、④家電4品目、⑤金属くず、⑥コンクリートがら、⑦不燃物、⑧可燃物、⑨畳・ふとんの9区分とし、それぞれの区画は5～6m四方程度とする。



<参考> 青森県災害廃棄物処理計画 一次仮置場のレイアウト例



6. 参加者のグループ分け

参加者は1グループ6名程度を目安にグループ分けを行う。グループ内は今後の災害廃棄物処理における協力体制や人脈作りを考慮し、近隣地域の自治体が同じグループになるよう配慮する。

7. 模擬ごみ・資材

災害廃棄物受入訓練で使用する模擬ごみは黒石市に提供の協力をいただくが、準備の困難なものについては段ボールで代用する。段ボール代用ごみについては、2L ペットボトルを内部に固定して重量をもたせるものとする。

8. スタッフ配置

運営スタッフには運営（日本エヌ・ユー・エス株式会社・東和テクノロジー株式会社共同企業体）から5名、青森県解体工事業協会から車両運転、重機オペレーター、及び交通誘導員として8名にご協力をいただくこととする。

役割	主な作業	場所	人数	担当
交通誘導	開場・閉場時の駐車場への誘導	入口・駐車場	2名	解体工事業協会
搬入車両運転	軽トラの運転	軽トラ	3名	運営（JANUS・東和）
重機オペレーター	重機デモンストレーション・運営補助	重機 仮置場内	6名	解体工事業協会
参加受付・進行補助	受付（名簿チェック、資料配布）、進行補助	受付・ 仮置場内	2名	運営（JANUS・東和）
全体進行	全体の工程管理	仮置場内	1名	運営（JANUS・東和）
訓練の解説	搬入訓練の実況・解説、搬出訓練時の解説	仮置場内	1名	運営（JANUS・東和）
進行補助	進行補助	仮置場内	1名	運営（JANUS・東和）



9. 訓練の概要

9.1 全体スケジュール

事前準備として 23 日（木）にテント等の資材の受け取り、模擬ごみの確認、段ボールごみの組み立て等を実施し、現地にてレイアウトの確認を行う。

【10 月 23 日（木）】

時間	次第	内容
15:00	事前準備	・ 資材の受取、確認 ・ レイアウトの現地確認 ・ 模擬ごみ（段ボール）の組み立て ・ 模擬ごみ（黒石市）の確認 ・ テントおもりへの水を入れる ・ （看板に紙をはる）
17:00	運動公園閉館	・ 資材を現地倉庫に
17:30	訓練場所の確保	・ 一般利用者の車両が駐車されないよう会場を閉鎖

【10 月 24 日（金）】

時間	次第	内容
9:00	当日準備	・ テント、イスの組み立て・設置 ・ 音響設備の設置 ・ 軽トラックへの積み込み ・ 受付設置 ・ 敷鉄板、重機の設置 ・ 軽トラックの走行ルートに参加者が立ち入らないよう三角コーンを設置
12:30	開場	・ 受付開始
13:00	訓練開始	① 開会挨拶・オリエンテーション ② 役割決め、レイアウト確認 ③ 仮置場設置訓練 ～休憩～ ④ 災害廃棄物受入訓練 ⑤ 災害廃棄物搬出訓練 ⑥ 振り返り、全体発表 ⑦ 講評 ⑧ 閉会挨拶
16:00	片付け	・ 三角コーン、テント、音響設備、模擬ごみ等の撤去
17:00	閉場	

9.2 訓練の内容

① 開会挨拶、オリエンテーション

主催者による開会挨拶ののち、訓練の目的、仮置場設置における注意点、本日の仮置場設置・運営訓練における想定と流れ等について事務局より説明を行う。

② 役割決め、レイアウト確認

グループ内で仮置場運営上の役割分担（全体統括、受付係、荷下ろし補助・分別指導係、交通誘導係 等）及びレイアウト上での各係の配置について話し合い、決定する。

③ 仮置場設置訓練

9 分別区分の仮置場を設置する。各グループに割り当てた分別区分のスペースに、ブルーシート、三角コーン、コーンバー、工事用看板の設置と分別表示紙の貼付を行う。

④ 災害廃棄物受入訓練

グループは搬入者（住民役）と受入側（仮置場運営役）に分かれてシナリオに沿って実施する。災害廃棄物の受入シナリオは以下のとおり。

NO	シナリオ	A	B	C	D	E
1	被災住民。片付けに手一杯で分別する余裕がなく、とにかく持ってきた。	受入	搬入			
2	積み込みのごみも少ないので、前の車を追い越したいと受付に迫る住民	受入	搬入			
3	高齢の母が被災したため片付けの手伝いに来た。ついでに2階も整理し、不用品ももってきた。		受入	搬入		
4	長時間待たされて不満を持っている住民		受入	搬入		
5	隣町から来た災害ボランティア。被災者に頼まれたものをもってきており、何を積んでいるか把握していない。			受入	搬入	
6	持ち込み不可の生活ゴミを持ってきて受付でこねる			受入	搬入	
7	チラシに掲載されていた分別ルールに従い、分別してきた。				受入	搬入
8	仮置場の場所が遠い クレームが出た				受入	搬入
9	美容室を経営。店舗が浸水。店舗部分で発生したごみも持ってきた。	搬入				受入
10	隣町の自宅からゴミを持ってきた住民	搬入				受入

⑤ 災害廃棄物搬出訓練

重機（バックホウ、アームロール車）による災害廃棄物の積み込みのデモンストレーションを実施する。訓練実施時には、④災害廃棄物受入訓練の際の役割に基づき、搬出するごみの指示、重機周辺の安全確認、積み込み確認および写真撮影の係に分かれ、それぞれの作業を確認しながら進行する。

⑥ 振り返り・全体発表

訓練を通しての気づき、課題と想定される対策等についてグループ内で意見交換を行い、グループごとに全体発表を行う。

⑦ 講評

国立環境研究所高田光康客員研究員より訓練全体の講評をいただく。各グループの訓練での動きや振り返り等に対するコメント、および自治体職員として必要な対応、必要な構え等についてお話いただく。

10. その他

訓練の内容を後日青森県 HP で公開するための動画を撮影する。

また、実施後は参加者に対して、訓練を通しての実務における課題や対策、工夫などの気づき、訓練に対する要望や改善点等についてのアンケート調査を実施し、取りまとめを行う。